

2021年度 認定こども園建国幼稚園 重点目標

1. 遊びを通して学び、生きる力を育てる

- 子どもが主体的、自発的に考え決めて、遊ぶことができるような環境を整える。
- グループ活動、縦割り活動により、互いに思いやり、助け合い、話し合いながら協力して活動する力を育てる。
- 年齢に応じた環境設定や教材を工夫する。
- 小学校と連携した交流を通じ、学校生活にスムーズになじめるよう取り組む。
- 散歩、飼育、栽培などの活動を通して、身近な自然と関わる。

2. 基本的な生活習慣を身に付け、健康な体を作る

- すすんで挨拶する姿勢を育てる。
- 着替え、荷物の整頓、排泄等、身の回りの事が自分でできるようにする。
- 食事のマナーを身につけると共に、好き嫌いなく食べる姿勢を育てる。
- リズム運動や体操教室、外遊び、散歩などで、健康で丈夫な体をつくる。
- 家庭と連携し健康で、安全な習慣を身に付ける。

3. 自他を尊重し、国際感覚を育てる

- 多様なルーツを持つ子どもが互いの違いを認め合い、自他を尊重する心を育てる。
- 韓国語、日本語を生活の中心とし、英語に親しみ、言葉に対する感覚を養う。
- 幼稚園生活、文化や行事を通して国際感覚を育てる。
- 自分の気持ちを表現し、互いの思いを大切に作る姿勢を育てる。

4. 安全で安心な園づくりを目指す

- 行政の方針に基づいた衛生管理、教育活動を基本に、安全で安心な園づくりに努める。
- 防災訓練、防犯訓練を行い、教員、子どもたちの防災意識を高める。
- 安全管理体制を整え、教員間の研修、訓練を行い意識向上に努める。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組む。

5. 地域に開かれた園づくりを目指す

- 学校ホームページ、園ブログ、スタディサプリを通して園の情報や活動を発信する。
- オンライン、オフラインを含め、保育参観や行事を通して、園生活の様子を知らせる。
- 地域子育て支援活動として、動画配信、子育て相談や未就園児親子教室、園庭開放を行い、開かれた園づくりをする。
- 他園との交流を図り、教員同志の保育研究、研鑽を深める。

2021 年度 建国幼稚園 学校評価保護者アンケート(保護者・教員)

2022 年 1 月実施・2 月 10 日集計

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない
D:まったくあてはまらない

番号	設 問	保護者集計結果 (回収率 76%)		教師 アンケート	
		A+B	C+D	A+B	C+D
1	子どもが元気にのびのび考え、活動できるような環境づくりに努めている。	90	10	100	0
2	グループ活動、縦割り活動などを通じ、互いに思いやり、協力しながら活動する力を育てている。	93	7	100	0
3	年齢に応じた環境設定や教材を工夫している。	84	16	100	0
4	散歩、飼育、栽培などの活動を通して、身近な自然と関わるようにしている。	84	16	89	11
5	着替え、荷物の整頓、排泄等、身の回りの事を自分でできるよう指導している。	93	7	89	11
6	食事のマナーを身につけ、好き嫌いなく食べるよう指導している。	98	2	100	0
7	リズム運動や体操教室、外遊び、散歩など、健康で丈夫な体づくりに取り組んでいる。	98	2	100	0
8	通信等の発信を含め、家庭と連携し健康で安全な習慣を身に付けるようにしている。	86	14	100	0
9	韓国語、日本語を生活の中心とし、英語に親しみ、言葉に対する感覚を養うようにしている。	76	24	89	11
10	幼稚園生活や行事を通して自然と国際感覚が身につくよう努めている。	72	28	78	22
11	行政の方針に基づいた衛生管理、教育活動を基本に、安全で安心な園づくりに努めている。	86	14	89	11
12	毎月、防災訓練や防犯訓練を行い、教員や子どもたちの防災意識を高めている。	98	2	89	11
13	園ブログ、スタディサプリ等を通して園の情報や活動を発信している。	93	7	89	11
14	オンライン、オフラインを含め、保育参観や行事を通して、園生活の様子を知らせている。	90	10	100	0
15	地域子育て支援活動として、動画配信、子育て相談や未就園児親子教室、園庭開放を行い、開かれた園づくりをしている。	88	12	100	0

2021 年度 学校評価アンケート 教員自己評価

2022 年 3 月 4 日

認定こども園 建国幼稚園

2021 年度、認定こども園 建国幼稚園「学校評価アンケート」について、ご協力をありがとうございました。

新型コロナ発生から 2 年余り、保育現場では難しい選択を迫られることが多い中で、保護者の皆様の温かなご協力、ご理解を力に子どもたちの健やかな成長を願い、方法を模索し取り組んでまいりました。以下、皆様のアンケート結果をもとに、今年度の重点目標に照らし、教員自己評価を行いました。ご参照ください。

【自己評価】

(1) 遊びを通して学び、生きる力を育てる (アンケート No.1~4)

○園では子どもたちの年齢に応じた教材、活動、経験、体験を設定し、さまざまな「遊び」を通して学び、生きる力を育てることに重点を置いています。この点について概ね高い評価をいただきました。

○今年 2 歳児では発達に応じたおもちゃを作り、遊ぶことを大事にしてきました。また各クラスでは、集団遊びや表現活動を多く取り入れ、ルールを理解し主体的に動くことやイメージを表現する活動で、自分の思いを素直に出したり、人に思いを寄せることができる子どもたちが増えてきています。

○縦割り活動は、今年もコロナ渦で比較的制限がありましたが、その中でもいろいろな取り組みをしました。

「誕生日会」では 5 歳児が司会を務めたり、「ハロウィン」、「お店屋さんごっこ」、「作品展の共同制作」では、2、3 歳の子どもたちが 4、5 歳児の姿に憧れ積極的になり、4、5 歳児は下のクラスの子どもたちに対して教えたり優しく手伝うなど、思いやりの気持ちが育っています。イヤイヤ期真っ只中の 2 歳児は「お兄ちゃん、お姉ちゃんとなら一緒にしたい！」など子どもたち同士の育ちの大切さを感じる姿がたくさん見られました。

○畑で、野菜やお花の苗植えをし、毎日水やりをしたり、各クラスで生き物を飼い、餌をあげたり掃除したりすることで、大きくなっていく姿や命の大切さを感じる機会になりました。

○5 歳児では、新しくお習字の体験やひらがな遊び、鉛筆の持ち方、書き方を楽しく学びました。来年度はさらに楽しく文字に親しみ、触れる時間を充実させたいと思います。

(2) 基本的な生活習慣を身に付け、健康な体を作る (アンケート No.5~8)

○今年度もコロナ感染拡大防止のため、食事や運動時など、注意を払いながら取り組んできましたが、この項目でも高い評価をいただきました。

○給食やおやつ時の感染防止のためにパーテーションを作成しました。「黙食」など楽しい時間にも少し我慢が必要になりましたが、食べやすいメニューに工夫してもらい、野菜をしっかり食べられる子が増えました。

○コロナ渦でおうち時間が増えるなど、子どもたちの体力低下が心配される中、園では安全に配慮した体制で電車や消防車を見に行ったり、広い公園に行くなど、お散歩の機会を多く持ちました。

○また通年取り組んでいる体作りの 1 つのリズム運動では、月に 2 回、広い体育館を使って 2~5 歳児全員がのびのびとしっかり動ける良い機会になりました。

○今年は各クラスで乾布摩擦やマラソンに取り組み、体を温め皮膚を鍛えたり、持久力をつけることにも取り組むほか、2 歳児は足腰をしっかり作るため学校探検で 6 階まで上がったり、3 歳ではぽっくり散歩をしたり、4 歳では天狗げたで歩いたりしっぽ取りをしたりしました。5 歳では体のリズム感や手指や手首のしなやかさを培う活動としてけん玉、棒登りや竹馬、大縄などに取り組み、全身を使った協応運動にも取り組んできました。

○今年は通信や保健便りのほかにクラス便りを毎月発行する事を始めました。参観や、保護者参加の行事が難しい中、子どもたちのようすを少しでも伝えられたらと考え、スタディサプリ、インスタグラムなどのツールを含め、発信するよう努めました。

(3) 自他を尊重し、国際感覚を育てる (アンケート No.9～10)

- 本園は「韓国語、日本語、英語に親しみ、いろんなルーツを持つ子どもたちが一緒に生活をする」環境です。韓国語は、これまでの「挨拶や基本的な生活用語、歌や手遊び、読み聞かせ、韓国語保育、舞踊」に加え、今年は毎朝のサンライズの時間に韓国語や韓国の童話鑑賞も取り入れ、きれいな発音を聞き、お話を楽しむ機会を作りました。
- 英語については生活発表会で初めて3歳児が英語の劇に取り組みました。サンライズイングリッシュや英語保育などで日ごろから英語にも慣れ親しんでいるので、楽しくセリフを覚えることができました。
- また耳の発達を期して、クリスマス会など、プロの演奏家を招いて生の演奏を聞く機会を設けました。来年度は学期に1回、プロの楽器の音に触れ、楽器の使い方を教えてもらう予定です。

(4) 安全で安心な園づくりを目指す(アンケート No.11～12)

- この項目でも高い評価をいただきました。
- 安全面・健康面では、「保健だより」の発行を通じて、子どもたちの健康や安全、発達に関する情報を発信し、保護者の皆様とともに考える機会をもつ試みを継続します。また、今年は幼稚園の門に指詰め防止ストッパーを設置しました。さらに来年度は幼稚園の門の施錠を計画しています。
- 夏の厳しい日差しを防ぐため、春休み中に園庭に日除けテント工事を施工します。
- 避難訓練では、火災、地震、また防犯も合わせ月ごとに実施しています。避難訓練の前には絵本や紙芝居を通じて自分の命を守ることを学びながら、取り組みを進めてきました。今では状況に応じてダンゴムシのポーズで隠れることや、口を抑えて逃げる、靴をさっと履く、先生の話をしっかり聞くなどとてもしっかりできるようになりました。これからもいろんな場面を想定し、安全に取り組みたいと思います。
- コロナ対策については、子どもたちにマスクや消毒、3密を避けるなどの基本と、その他行政の指導に基づいて行っています。これからも保護者の皆様方のご協力をいただきながら、継続して努力してまいります。

(5) 地域に開かれた園づくりを目指す (アンケート No.13～15)

- この項目でも高い評価をいただきました。
- 園では子供たちの様子や園生活を少しでも知っていただく動画配信やスタディーサプリや、Instagram等の配信に努めています。ホームページやブログの改編など、さらに工夫を重ね、情報発信に努めたいと思います。
- また地域子育て支援活動としては、未就園児親子教室「ぴよんあり」など、子どもの発達課題に合わせた親子遊びや制作、英語遊びや「園庭開放」、「入園相談」、「発達相談」を実施しています。
- 園庭の柵に子ども達が作ったメッセージを展示し、地域に発信する取り組みも継続して行ってまいります。

※ 学校評価についてアンケート等、ご協力をありがとうございました。

皆様の声を受け、また新しい一年に向け、教員一同さらに研鑽を積んでまいります。

2022年3月10日

学校法人 白頭学院 理事会・評議会 貴中

2021年度 認定こども園 建国幼稚園 学校関係者評価

認定こども園建国幼稚園学校関係者評価委員会

■ 学校関係者評価委員（5名）： 金秀子 副園長 康龍江 主任
安潤美 PTA 会長 金舞姫 保護者代表 金奈炫 保護者代表

■ 実施日：2022年3月7日

■ 場所：白頭学院 会議室

[今年度重点目標]

- (1) 遊びを通して学び、生きる力を育てる
- (2) 基本的な生活習慣や食習慣を身に付け、丈夫な体を作る
- (3) 自他を尊重し、国際感覚を育てる
- (4) 安全で安心な園づくりを目指す
- (5) 地域に開かれた園づくりを目指す

【項目別評価内容】

1. 遊びを通じて学び、生きる力を育てる。

○今年度はワークショップの IPPO さんに4回、集団遊びの町田先生には3回来園して頂き、子供達が興味・関心を持つ「遊び」を通じて学ぶ機会をたくさん作って頂きました。子供たちが元気にのびのび考え、活動できるような環境づくりに努めている点においては高い評価を頂きましたが、年齢に応じた環境設定や教材を使っていないと感じている方も多数いるようです。

2 基本的な生活習慣と食習慣を身につけ丈夫な体を作る。

○コロナ感染拡大防止のため、今年度は給食やおやつ時の机にアクリル板パーテーションを先生が自作してくださったり、季節毎のマスク脱着に細心の注意を払って取り組んだことが見られます。生活習慣と食事習慣への指導は特に高い評価を頂きました。

3 自他を尊重し、国際感覚を育てる。

○保護者・教師双方ともにアンケートの中で最も低い評価となりました。
韓国の幼稚園なので日常的に韓国語を見る・聞く・触れる事を望む声が多いようです。

4.安全・安心な幼稚園づくりを目指す。

○私生活でも欠かせないマスクや消毒の習慣が園生活の中で習得でき、とても感謝しています。
防災意識は非常に高いと評価頂いてます。

5 地域社会に開かれた幼稚園づくりを目指す。

○スタディサプリ、インスタグラム、動画配信、ブログを通じて幼稚園生活に対する情報発信を行い、園での子供達の活動の様子を見られるようにしてます。また、バスの運行状況、災害時の連絡、園でのコロナ関連のお知らせも迅速な対応をして頂きとても助かりましたが、アフター情報が放置されている事を指摘する声もありました。

【全体要約】

コロナ禍2年目に入り、保護者の方々へ幼稚園本来の「建国らしさ」を直接お見せできない状況が続いているにもかかわらず、保護者アンケートで総合的に高い評価を得ることができたのは、模索しながらも対応してくれた園の協力体制があったからこそだと振り返ります。

この数年、幼稚園での韓国語習得と文字学習は保護者の最大の感心項目です。高まる保護者のニーズに園がこれからどう向き合い答えていくのか期待したいと思います。